令和元年度 学校評価

選択肢 ①「そう思う」 $\cdots 4$ 点 ②「どちらかというとそう思う」 $\cdots 3$ 点 ③「どちらかというとそう思わない」 $\cdots 2$ 点 ④「そう思わない」 $\cdots 1$ 点 で計算して、平均点を示してあります。

	重点目標	教育アンケート項目	子ども	保護者	職員	学校 評価	関係者 評価
確かな学力の育成	基礎基本の習得	子どもたちは家庭学習や漢字・計算コンクールに一生懸命取り組んでいる。	3.6	2.9	3. 3		A
		子どもたちはおはなしタイムで自分の考えを言うことができる。	3.0		<i>3. 1</i>	В	
		子どもたちは、図書館の本を読んだり、本でいろいろなことを調べたりしている。	3. 1	2. 7	2.8		
	学ぶ意欲の向上	子どもたちは(教師は) 授業で課題や問題にすすんで取り組んでいる	<u>3. 2</u>	2.9	3. 0		
		子どもたちは、水泳や駆け足訓練で目標を決め、運動ができるようになった。	<u>3. 3</u>	3. 1	<u>3. 4</u>	Α	
		学校は、体験や見学を取り入れ、地域の教育力を積極的に活用している。		<u>3. 3</u>	<i>3. 1</i>	A	
		子どもたちは楽しく授業を受けている。	3. 4				
豊かな心の育成	温かい学級集団づくり	子どもたちは楽しく学校に通っている。	3. 4	3. 5	3. 4	Α	
	異年齢集団の充実	子どもたちは、たてわり班活動でみんなと協力できる。	<u>3. 3</u>	3. 2	3. 3	В	A
	基本的な生活習慣の定着	子どもたちはあいさつができる。	<u>3. 3</u>	3. 3	2.7		
		子どもたちは時間を守って生活することができる。	<u>3. 2</u>	2.8	3. 3	В	
		子どもたちは、そうじを黙って真剣に行うことができる。	3.0		2.7	Ь	
		子どもたちは規則正しい生活を送っている。(早寝・早起き・朝ごはん)	3. 3	<u>3. 0</u>	3. 1		
が もの育成 おり おり かっと かっと かっこう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょ かいしょう かいりょう かいり かいりょう かいり かいりょう かいり かいりょう かいり かいりょう かいり	道徳教育の充実	子どもたちは自分や友達、周りの人、生き物の命を大切にしている。	3. 7	3. 5	3. 4	Α	A
	危機回避・対応能 力の向上	子どもたちは,交通事故,けが,不審者にあわないように気をつけて,生活できる。	3. 7	3. 3	3. 5		
		子どもたちは,火事や地震が起きたとき,どのようにしたらいいか知っている。	3.8	3. 4	<i>3. 4</i>	Α	
		子どもたちは困ったことや悩みを相談でききる。(学校は悩みに対応している)	<i>3. 1</i>	<u>3. 0</u>	3. 5	A	
		学校は,遊具・施設など安全整備が行き届いている。		3. 1	<u>2. 3</u>		
職員集団をめざして信頼され,魅力ある	教師の力量向上	授業力アップと子に応じた支援を意識し,力量向上に努めている。			3. 1		A
		学校行事は工夫され, 充実している。		3. 3	3.2		
		学校公開の回数や内容は適切である。		3. 4	3.2	Α	
		通知表は、子どもたちの学習や生活についてわかりやすく書かれている。		3. 2	3. 2		
		学習内容や子どもの様子を、通信などでよく知ることができる。		3. 2	3. 2		
て教	人間関係づくり	学年や組織で対応し、連携を図っている。			3. 5	Α	

- 子どもの評価で上がったのは、4項目。今年度も全般的に安定している。ただ、「お話しタイム」「そうじ」や「悩みを相談できる」の項目の点数が低い。
- 保護者の評価では、昨年度と比べると大きな変化はない。子ども同様「悩みを相談できる」の項目で点数が下がっている。家庭と子どもと教師がお互いに、信頼できる人間関係づくりを心がけていきたい。
- 昨年度,教職員の評価は、下がっている項目が多かったが、今年度は少し回復している。
- ここ数年,お話しタイム等に力を入れ,教職員の研修を行っている。杉山の子どもなら,もっとできると期待値が高いため「確かな学力の育成」の部分の項目の教職員の点数が下がっているのかもしれない。
- 保護者の自由記述には、温かい言葉を書いてくださる方が多い。今年度、学習発表会のスタイルを変更した。 明るく見やすくなったという意見を多くいただいた。
- 自由記述の中に、部活動に関するものが寄せられている。豊橋市では、令和3年度から小学校の運動部を行わない。体力の低下を心配する声が上がっている。基本的生活習慣を見直したり、体育的活動を充実させたりして、家庭との連携を図っていきたい。